

# 町政を問う!

## 一般質問 全議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 関根清隆 議員

- 1 持続可能な農業政策について
- 2 3回目のワクチン接種について

### 大賀広史 議員

- 1 官製談合事件
- 2 地元対策費と事業
- 3 一連の不祥事に対する責任について

### 石井 徹 議員

- 1 今後の財政面での影響のある施策について
- 2 地域（放置）猫について

### 森 利夫 議員

- 1 入札について
- 2 有害鳥獣について
- 3 給食費の改定について

### 松浪健一郎 議員

- 1 空き家を増やさない取り組みについて、再度提案する
- 2 入札談合事件の公判を傍聴して、公判の中で初めて公になった事実について、町の見解を伺う

### 日坂和久 議員

- 1 防災行政無線放送の情報をいかに明確に伝えられるか
- 2 週刊誌の掲載記事(町への寄附)について

### 小川唯一 議員

- 1 健康長寿の町づくりと農業
- 2 農業集落排水事業
- 3 住みよい町鳩山のPR

### 野田小百合 議員

- 1 まちづくり応援寄附金について
- 2 地域が元気になるために
- 3 森と樹木を守るために
- 4 HPVワクチンの積極的勧奨について

### 根岸富一郎 議員

- 1 ごみ集積所について
- 2 坂戸ガスの寄附について
- 3 公園にトイレを

### 中山明美 議員

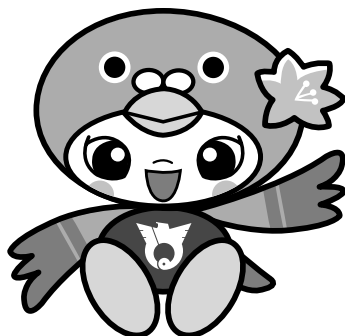
- 1 猫の殺処分ゼロを目指して
- 2 誰もが輝く町制40周年に
- 3 災害時の職員対応

### 小鷹房義 議員

- 1 おしゃもじ山公園の管理について
- 2 有害鳥獣捕獲について
- 3 幼稚園の食育について

### 石井計次 議員

- 1 活力ある持続的町づくりについて
- 2 公共工事の手順について
- 3 農村公園について
- 4 財政問題について



関根 清隆 議員



世界的な食糧危機が訪れるのは時間の問題とあるのでは？

農業政策

世界は食料危機。町の農業政策は

3地域で組合結成、共同事業へ

問 世界的異常気象や穀倉地帯の地下水枯渇で、近い将来、食料危機が訪れば、食料を輸入に頼っている日本は心配だ。そこで農業政策についてたずねる。農家世帯数・作付面積・年収、遊休放棄地は。

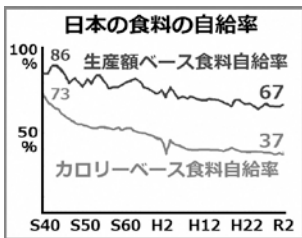
答 農家数202戸、一戸当たり耕地面積平均2ha（比企平均3ha）で、年収は約3百万円程度と推定。現実には、経費を差引くと、労働対価はわずか数万円。遊休地（管理地を除く）は4.6%ほど。問 農家からは①高齢化で後継者不足。②耕地面積が狭い。③農業を続ける意思が弱い。④農地共同化・集約化の意思はない。⑤太陽光発電でも良い。などの意見を間接的に聞いているが、現状はどうか。

答 高齢化が進み、43%の農家は後継者がいない。農作業が困難な場合、賃貸や売却を考えている状況。農家の継続が危ぶまれている。問 今後の政策として、

大規模化・組織化、加工製品の開発、ブランド化、販路開拓が望まれるが、いかがか。

答 奥田・須江、泉井、大豆戸の3地区で農事組合法人が設立されている。販路はJA系統販売と「ちよつくま」で販売・加工。

問 新規就農希望者への技術援助、財政的支援はあるのか。また、新規就農者の募集をSNSで行うなど、推進はいかがか。答 JA埼玉中央農協が営農指導・栽培技術指導。県補助金を活用すれば就農前後7年間で最大990万円の支援がある。新規就農をより促進するため、町のインセンティブを考えたい。



主要先進国で自給率最低。食料を輸入に頼る日本は、世界の食料事情に大きく左右される。

大賀 広史 議員



役場の信用を失墜させる発言では？

不正入札

30年以上前から不正があったのか

供述のとおりと認識している

官製談合事件 問 元職員の判決が出たが、公判メモによると、立件された2件以外にも2件の犯行を自供している。これら4件の工事総額は。

答 供述したことは事実だろうと考えている。給食センター改築工事を含む入札額は合計で14億円。問 30年以上前から不正を行っていた。自分に限らず業者にヒントを教えたといい驚きの供述があった。元職員の判決を含め、事件に対する小峰町長の見解は。

答 官製談合防止法が制定された経緯の中で、鳩山町にはコンプライアンス意識が欠如していたと反省している。

地元対策費と事業 問 突然地元対策費が8億円満額交付となったが、地元と埼玉西部環境保全組合との関係はどうか。

答 地元と保全組合の考え方の相違により、少なからず関係に影響を及ぼしているが、今後3者協議が予定されている。

問 地元対策事業の全貌、概算総事業費が見えてこない。新規事業があるが、計画と事業予算を示せ。

答 議員要望の第1期計画検証も含めて、第2期計画の作成にあたる。

一連の不祥事の責任 問 公判で明らかになった余罪の件、自分に限らずやっていたという元職員の証言、地元が抱く町と組合に対する不信感、9月議会における令和2年度決算不認定、これら一連の不祥事の責任を果たしたと考えているのか。

答 責任の取り方は、再発防止策の徹底に尽きると再三申し上げてきた。職員の意識改革が、不徹底だったことも自覚している。

今後とも責任を果たしていきたいと考えている。

鳩山町元職員に有罪判決
令和3年11月11日付け
埼玉新聞より抜粋



石井 徹議員

### 町有財産の処分

## 現在の進捗状況は

# 10施設を重点的に検討する

町財政の今後の課題にしっかりと取り組めます

**町の自主財源確保策から企業誘致について**

**問** 産業系誘導エリア指定で企業誘致への影響は。

**答** 企業の立地誘導を進めるため、開発の立地基準を整えることで、積極的な立地誘導が図られ、好影響がある。

**問** 長期的な自主財源の獲得に向け、今回の1箇所だけでなく、同様な試みを複数箇所を進めては。

**答** 手続きや財政負担を考えると、まずは今回取り組んでいる地区で成果を求めてから考えたい。

**太陽光発電施設について**

**問** 最近の固定資産税額は。

**答** 令和3年度は92件で約3415万円であり、貴重な財源である。

**問** 現在、条例制定を検討しているが、制定後の施設設置の考えは。

**答** 設置を禁止するものでなく、国の進めるゼロカーボンに向けた必要性を認識した中で、適切な業者に設置を行わせ、本町の自然環境や生活環境の保全を図り進めていく。

**町有財産の処分計画は**

**問** 町民検討委員会から町長への答申を受け、具体的な処分方法を庁内検討委員会が進めているが、現在の進捗状況は。

**答** 低未利用地の調査、売却処分はもとより、個別施設計画において施設の処分計画を4分類にして、旧高台寺浄水場をはじめ、10の施設を本年度から5か年計画で重点的に検討していく。

**地域猫について**

**問** さくら猫事業とは。

**答** 不妊治療を実施し無秩序な繁殖を防ぎ、所有者不明猫の住民への生活環境被害軽減を図る事業。



具体的な処分を検討する旧高台寺浄水場

### 給食費の改定

## 給食費の今後の対応は

# 令和4年度より値上げする

数億円の箱物行政を続けてきたのに、またこのために100万円不足するも負担できないのか？

**問** 今回の不正事件の公判中に発覚した、給食センター改築工事費漏えい疑惑への対応は。

**答** 先日、関係職員のアリリングを実施した。再発防止対策有識者会議において、不正事件の背景及び原因の検証を行い、事件が二度と起きないよう、再発防止に取り組む。

**問** ぐずぐずしていると、給食センターの工事費漏えい事件は、時効を迎えてしまわないか。

**答** 顧問弁護士等に相談をして一度調査をしたい。

**問** 給食費の現状と今後の対応は。

**答** 平成30年度までは、運営資金が200万円以上あったが、令和元年度以降、資金を取り崩したので、運営が大変厳しい。このような状況下、小学生は月額3910円を4200円、中学生は月額4730円を5000円に、令和4年度から値上げする。

**問** 運営資金200万円の出どころは。

**答** 保護者の皆様からの

給食費で、給食会計に余剰が生じた場合、運営資金に繰り入れている。

**問** 移住促進や、子育て支援策の一環として、給食費を据え置き、不足額が100万円程度であれば、一般会計から捻出できないか。

**答** 財政状況もあり、基本的には受益者負担になる。

**問** 近隣の自治体では、給食費を無償化にしている町がある。値上げについて町長の考えは。

**答** 給食を安定的に供給するために必要な事と考える。



森 利夫議員



今年の4月から値上がりする学校給食

松浪健一郎議員



「談合は許せない！  
損害賠償すべき！」

入札談合事件

損害賠償請求はしないのか

道義的責任を明らかにする

**問** 以前に空き家を増やさない取り組みリバーヌモーゲージを提案した。どのように取り組んだのか。

**答** 埼玉県社会福祉協議会実施の不動産担保型生活資金制度について、「広報はとやま」において、「掲載したのみ。今回改めて検証して、土地の評価額が低くても融資ができることもある、個々に相談して欲しい。」

**問** リースバックも検討してみているのか。

**答** 売却後は所有権を移転するので、相続トラブルも回避できることや、自宅を買い戻すこともできるなど、契約により、メリット、デメリットがある。

**問** この2つの制度を広報等で、もっと町民に知ってもらいたいと思うが。

**答** 必要な人に、必要な情報を提供する形として、広報への掲載を検討したい。

**問** 入札談合事件の公判を傍聴して、被告は上熊

井と泉井2つの工事以外にも、鳩山町学校給食センター工事の工事価格を漏洩したと供述した。この時から退職まで働き続け、給与等と退職金をもらっていた。この給与に對して町は返還請求をしないのか。

**答** 既に退職している職員に對して、懲戒処分ができない。退職金の返還請求に關して、在職期間中に係る刑事事件に關し、禁錮以上の刑に処せられた時に返還請求が可能。よって今回の判決によると、返還請求は難しい。ただ、民事上の責任及び公務員としての責任、道義的責任については、どのような形で責任を明らかにするのが適当なのか、検討したい。



増え続ける空家

日坂 和久議員



「情報は  
伝わらなければ  
意味がない」

防災行政無線

「聞き取りづらい」改善は可能か

屋外子局からの放送は限界である

戸別受信機配備の提案

**問** 防災行政無線については、長きに渡り「聞き取りづらい」との指摘がある。デジタル化で音も鮮明のはずだが解消できない。アナログと比べメリット・デメリットは。

**答** 障害物が無ければ音が遠くまで届く。ノイズカットで音が明瞭。地形等の要因で入り組んだ場所へ音声が届くには、アナログが優れている。

**問** 場所によっては、アナログの方が明確に伝わったのか。

**答** そうだが、国の方針で令和4年11月30日以降使用できない。

**問** 屋外子局からの情報伝達には限界があるのか。

**答** その通りだ。

**問** 限界に對する補完制度のフォロー電話サービスは、携帯電話等から繋がらない。繋げないのか。

**答** 防災情報メールの登録を普及させている。携帯電話等については検討する。

**問** 防災情報メールの登録数は。

**答** 少ない。384人だ。

**問** デジタル化でも相変わらず「聞き取りづらい」補完制度は活用しづらいでは、明確な情報伝達ができるか。

**答** 可能な限り努力する。総務省は確実な情報伝達の取り組みとして、戸別受信機の配備を促進している。町での配備を提案する。

**答** 1台約12万円かかり、財政的に難しい。

**問** 無線システムメーカー間で相互接続性も確保され、不要な機能を省いた安価な機種もある。先進自治体では財政に合った手法で実施している。研究を望むがいかがか。

**答** 検討していきたい。



越生町の住宅に配備された戸別受信機

小川 唯一 議員



健康宣言、  
3本柱+農業の4本柱に

### 農業集落排水事業

## 使用料金改定の考えは

## 現時点では時期等、答弁できない

**健康長寿の町づくりと農業**

**問** 農作業が健康寿命を伸ばすという考え方があるが。

**答** 農作業は生活習慣病の発生予防、主観的健康感の増大に繋がるとの調査結果が公表されている。

**問** 行政による積極的な周知が必要と思うが。

**答** 健康づくり所管課と調整し、対応を検討する。

**問** 「ちよつくま」「JA 鳩山農産物直売所」への出荷や就農を勧めることで、健康寿命の延伸が図れると思うが。

**答** 健康長寿のまちはとやま、宣言の「栄養運動、社会参加」の視点で考えれば、施設の利用が健康維持に繋がるものと考ええる。

### 農業集落排水事業

**問** 大規模災害時に、集落排水が住民に不便をかける体制となっているか。

**答** 上水道と下水道の管理を一元化することにより対応する。また、職員数を確保するなど体制の

整備を進める。

**問** 15年経った今、修理及び修繕するところは。

**答** 現時点での修繕は不要とされている。

**問** 構造物の維持管理が、耐久性を向上させると言うが、誰が行っているか。

**答** 業者による定期的な点検、職員の巡回により、適切な維持管理に務める。

**問** 近隣から臭気、放流水等のクレームは。

**答** ここ数年、クレームは寄せられていない。

**問** 町全体の負担軽減のため、使用料金の見直しは。

**答** 一定の料金改定は必要だが、現時点では時期等の答弁はできない。



大橋・泉井地区クリーン施設

### まちづくり応援寄附金

## 受けてはいけない寄附がある

## 法的に問題ないと判断

**問** 坂戸ガスから寄附を受けた経緯は。

**答** 会社創立50周年にあたり、ガス供給をしている自治体に寄附をすることを決定。

受け入れに当たり町長、副町長、選挙管理委員会を兼務の総務課、寄附受入事務担当の政策財政課で協議した。

公職選挙法に「公職の候補者等の関係会社等の寄附の禁止」の規定がある。企業名での寄附であり、公職選挙法逐条解説や選挙関係実例判例集等でも確認し、法には抵触しないと判断。県選挙管理委員会も同じ見解だったので、受け入れた。

**問** 選挙の直前に会社名であれ、選挙区である自治体に寄附をする。自治体も受け取ったことは、住民が不審の念を抱き、信頼を裏切る行為ではなかったか。

**答** 法的に問題がない。周りの自治体も受け取っている。

**問** 町の特産品の現状は。焼酎の呑舞、鳩豆醬

油、鳩豆つゆは製造中止。大豆は、継続した農産物特産品として、生産及び販売に取り組んでいる。

鳩豆うどんは、(株)グッドスタップが引き継ぎ、他県施設での販売など、全国展開を協議中。

栽培が堅調なアンスズや特徴のある地域農産物をターゲットに、特産品の開発に取り組む。

**問** 地域おこし協力隊立ち上げの研究をしないか。

**答** 日本大学の「中山間ふるさと支援隊」に取り組みしており、成果に結び付けたい。

地域おこし協力隊の研究は、合わせて検討する。

他の自治体が受け取っても、鳩山町は受け取らないで欲しかった

野田小百合 議員



新天地で自分らしく人生を紡ぐ

地域おこし協力隊員という生き方

地域おこし協力隊 Handbook

総務省・地域おこし協力隊ハンドブック表紙

根岸富一郎議員



近くに  
集積所が  
あればいいね

ごみ集積所

はじめから計画に入れて欲しい

計画にある場合、確保する

**問** ごみ集積所は、そもそもこの管轄か。

**答** ごみは、法律に、市町村が責任を持ち、住民は協力しなければならぬとある。

**問** 場所は町有地があればよいが、計画に入れる必要があるのでは。

**答** 町有地が一番よい。パッカー車などが「回収できる条件」のある所に住民のみなさんと話し合いをして選定する。

**問** 高齢化や多忙ということから戸別収集がよいと思うがどうか。

**答** その必要性は検討してきたが、経費など難しいと判断している。

**問** 町の区画整理事業での計画はあるか。

**答** 計画がある場合は、ごみの集積所も確保する。

**問** 坂戸ガスの寄附  
山口氏の会社からの寄附については、本人も選挙に詳しいと思うが、なぜこの時期なのか。

**答** 選挙関係実例判例集を確認し、今回はあくまで会社名での寄附を受けたものであり、選挙管理

委員会としては問題ないと判断した。

**問** 公職選挙法第199条の3に抵触する恐れがあるので、返したほうが良いのではないか。

**答** 法的には問題ない寄附であり、返す根拠がない。

公園にトイレを

**問** 石坂の森に出かけたが、トイレはない。

**答** 散歩コースなど「トイレの適正配置」の検討が必要だ。

**問** 公園にトイレを設置する構想がないのか。

**答** 銀河の丘、逆川沿公園は、梅沢運動場にトイレが整備されているので、一定の環境は整っている。



中山 明美議員



ボランティアは  
愛情だけではなく  
お金がかかっている

猫の殺処分ゼロ

「さくらねこ」活動の目的は

無秩序な繁殖を防止し頭数の減少

**問** 猫に対する苦情は寄せられているか。

**答** 11月末時点で25件。飼い主のいない猫への餌づけ、ふんや尿等による悪臭、自宅の敷地内等における猫の死体処理。空き家に住みついた猫など。

**問** どのように対処しているか。

**答** 猫は愛護動物であり、むやみに捕獲や処分をすることはできない。埼玉県動物指導センター（熊谷市）に相談していただく。

死体処理については、道路や水路などの公共用地的場合は、動物の死体処理業務で町が対応するが、民有地の場合は、所有者に処理をお願いすることとなる。

**問** 「さくらねこ」の活動とはどのようなものか。

**答** 公益財団法人どうぶつ基金が実施している活動。所有者不明猫を原因とする生活環境被害の軽減と、殺処分ゼロの早期実現を図るため、不妊手術を行うことで無秩序な繁殖を防止し、一代限り

の命を全うさせることで、緩やかにその頭数を減少させていこうとするもの。

**問** 県からの補助金の条件は何か。

**答** 原則3年間を期限として、年額40万円を上限に事業経費の補助を行う制度があり、補助金の交付条件を満たす必要がある。そのため組織の育成、実績等が必要と思われる。

**問** ふるさと納税の使用目的に、飼い主のいない猫の去勢手術代を加えてはどうか。

**答** 要望が多ければ、まちづくり応援基金を充当することも検討したい。





小鷹 房義 議員

鳩山の名所

おしゃもじ山は、今宿地区が一望できる眺めの良い場所ですね

おしゃもじ山の管理は

定期的な維持管理を行っている

**問** おしゃもじ山公園の管理はどのように行っているのか伺う。

**答** 植栽の維持管理及び公園の清掃業務を毎年、鳩山町シルバー人材センターに委託し、定期的な維持管理を行っている。業務内容は、つつじの育成に重点を置いた剪定また追肥などを実施している。

**問** 石碑が倒れているが、その対応は。

**答** 再設置場所を踏まえた修復方法等の検討をしている。

**問** 公園北側の竹やぶの管理について伺う。

**答** 現時点で伐採等の予定はないが、隣接する土地所有者のご意見を伺いながら、今後の方向性を検討していく。

**問** 展望台の塗装が剥がれてきているが、点検はしているのか。

**答** 平成14年度に展望台の耐震診断、平成26年度に展望台の塗装の塗り替えを行っている。今後とも適切な安全点検に努めていく。



おしゃもじ山展望台より今宿地区を見晴らす

**問** 幼稚園での食育について伺う。

**答** 子どもたちの豊かな心の育成を目指し、様々な体験活動を行っている。その一環として野菜の栽培活動がある。

**問** 食育に対する園児たちの声は。

**答** 幼稚園の野菜がおいしかった。観察が楽しかった等。

保護者の声としては幼稚園での栽培をきっかけに野菜を食べられるようになった。幼稚園の野菜を使って家で料理をしてくれた等、農作物に対する興味、関心が向上し、有効な食育になっていると考える。

人口減対策

町主導の婚活系の創設を提案

関係部署と連携し取り組みたい



石井 計次 議員

知恵を出して賑わいの町を！

**問** 人口減対策についての考えを伺う。

**答** さらなる人口減少が進む見込みである。生産年齢人口(15歳から65歳)が減る中、町民の幸せな暮らしに向け、安定的に行政サービスを継続するため、人口の減少を抑制するスキーム(実施計画)を位置づける。

**問** 人口減少を抑制する人口スキームの具体的な内容を伺う。

**答** 雇用を生み出す企業誘致、結婚、出産、子育て支援など位置づけている。また、ニュータウン内のルネッサンス事業を検討している。

**問** ルネッサンス事業の具体的な内容を伺う。

**答** 空き家等の除却工事にかかる費用の一部を町が補助し、未活用不動産を流通させようとする事業。

**問** 人口減対策に町主導の婚活系を創設できないか。

**答** 過去、社会福祉協議会で開設した結婚相談所の経緯を踏まえると難しいと考える。

少子化対策については、出会いや結婚、子育てなど関係部署と連携し取り組んでいきたい。

**公共工事について** 基本設計をもとに地元説明会を経て事業の実施に着手することだが、用地買収に該当する地権者の賛成、反対を把握することが必要と考えるがいかがか。

**答** 議員提案のとおり、事業計画を決定するプロセスの対応を今後検討していきたいと考える。

町人口の推移

	人口	世帯数
平成 7年	18,011人	5,132
平成 17年	16,348人	5,517
平成 27年	14,434人	5,891
令和 3年	13,381人	6,001

人口減少の続く鳩山町